



SSKW すてっぷ だより

編集 社会福祉法人すてっぷ すてっぷ後援会

〒379-2164 群馬県前橋市東上野町 136 番地 1

TEL 027-290-6161 FAX 027-290-6162 <http://www.s-step.com>

w-step@s-step.com

No.60



新年あけまして おめでとうございます



平成26年11月29日(土)、30日(日)2日間にわたり行われました、『第4回チャリティハンドメイド展 in すてっぷ』ですが、雨天にも関わらず大勢の方にご来場頂き、大盛況となり、売上も合わせ成功に開催することができました。

また、メディアの分野では、上毛新聞社ならびにぐんま経済新聞社にも取材に来て頂き、新聞紙面記事にもして頂きました。その上、多くの家族会の方々のお手伝いを頂きました。今回のハンドメイド展の成功は、商品の出展をしてくださった22名の作家さんをはじめ、携わってくださった皆様の協力の賜物です。

心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

昨年は会費の納入忘れを防止するため、家族会の方々による声かけと更にはお知らせを配布させていただきました。皆様のご協力により良い効果が出てきております。

障害がある方々が地域社会の中でいきいきと働けるための応援を、今年も引き続き行って参りたいと思います。昨年以上の支援を皆様からいただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

会費の納入忘れをされている方がいらっしゃいましたら納入をお願い致します。

すてっぷ後援会会長 猿木素子



チャリティーハンドメイド展収支報告

総売上	1,247,740円
収入 売上寄付金	465,364円
支出 必要経費(印刷代等)	63,800円
純利益	401,564円
来場者数	397名

2015年を迎えましたが、皆様いかがおすごしでしょうか。

昨暮れは唐突な印象の拭えない選挙、もちろん選挙は民意反映の機会であり、悪いことではありませんが・・・あまりにも。結果は選挙日程を決めた側の思惑通り、課題はいずれにせよ多様なこともあり、二人に一人が投票、その二人に一人弱の支持で三分の二強の与党継続。これからも「そこまで託していないのだが」というような政策が 続くことになるのでしょうか、気になるところです。

とくに社会福祉法人のしごと、そこでのお互いの関係の在り方に関わる福祉制度やその運用はどのような方向に向かうのか。この一年、これまでの活動を点検しながら法人運営を続け、同時に日常生活の視点からの発信を続けていきたいものと考えます。

理事長 鈴木基司



年賀状の代わりにすてっぷだよりを新年のあいさつとさせて頂いております。



各事業所 新年のごあいさつ



わーくはうす すてっぴ



あけましておめでとうございます。

今年も利用者さんの一人一人の想いが実現するよう、全力を尽くしていきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

- ①新ホーム入居利用者さんの『暮らしたい』を支える
- ②大好きな乗馬がいつでもできる！ふれあい牧場 OPEN
- ③織物で利用者さんパワーが発揮
- ④「食べる」ことを大切に

遊墨民展は、1 月 29 日(木)～2 月 24 日(火)アーツ前橋ミュージアムショップ『ミーナ』で開催予定です、みなさんは是非来てください。

とらっば



あけましておめでとうございます。

「働くための10の力」を軸にした昨年、支援や目標が前よりはっきり見えてきて、就職者数、工賃がアップしました。今年のキーワードは『外へ！』。力や強みを試したり、好きなこと・やりたいことを再発見するために、とらっばの外に出ていく機会を増やしていきたいと思います。2015年もどうぞ宜しくお願いします。

社会就労センターぴいす



昨年赤字だった食品部門ですが、みんなで頑張った結果、利益も向上してきました。

パソコン分解の仕事やアーツ前橋ミュージアムショップ mina の仕事も新しく始めました。

北海道、沖縄、上高地に旅行に行きました。(行きたいところを選んで)

自立講座は一年を通して「身だしなみ」をテーマに行なってきました。(継続中)

今年も利用者さん達がワクワクでウキウキでドキドキ(?)な楽しい一年になるようスタッフ一同頑張ります！

前橋市障害者生活支援センター



福祉サービスを利用されている方全員に「サービス等利用計画」を作成するという国の方針で支援センターは忙しい1年を過ごしてきました。来談者様も1,300名を超えます。相談支援が求められている現状を実感しております。前橋の相談支援の委託を受け12年、今後も計画作成だけでなく、福祉サービスを使われない障害者や家族のためにも生活等の相談に乗っていききたいと思います。

障害者就業・生活支援センター ワークセンターまえばし



ワークセンターまえばしは、今年の4月で8年目を迎えます。就職を希望する障がい者の方も増加していて、相談件数もさらに増加している状況です。

ワークセンターでは多くの方が就職できるように支援することはもちろん、就職後長く働き続け幸せな職業生活を送ることができるように定着支援にも力を入れています。関係機関や企業の方々と連携して力を合わせて、前橋地域の障がい者の方々が幸せな職業生活を送れるように支援していきたいと思っています。

今年もよろしくお願い致します。

Kid's club



あけましておめでとうございます。

昨年度は、夏にセミやクワガタ捕り。秋には秋の実拾い。どんぐりを入れたクッキー作り！

子どもたちは、自然と関わる中で、色々な物に出会い、何かを発見した時の素敵な表情を沢山見せてくれました。

子どもたちのわくわくドキドキを沢山作って行き、心の中を「楽しさ」でいっぱいにしたいです！今年もスタッフは全力で子どもたちと遊びます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

サービスステーションすてっぷ



利用者さんにとって特別で楽しい場所であり、ご家族にとってもしもの時の安心の場所であるようにスタッフ一同全力で頑張ります。今年の目標は、コミュニケーション技術の向上です。今年もよろしくお願い致します。

ケアホーム

あけましておめでとうございます。

今年の4月に新たに身体障害の方を対象としたホームが開所します。メゾンすてっぴ内にあったケアホームメゾンはなくなり、メゾンすてっぴは全室 福祉ホームとなります。

ケアホームメゾンとケアホームRUNから新しいホームに移って生活をする方、新しく入居される方を含めると、今年から4ホームで総勢24名体制となります。

皆さんにご協力頂きながら、利用者さんが健康で楽しい生活を送れるよう、スタッフ一同頑張っていきたいと思ひます。

今年もどうぞ宜しくお願い致します。



福祉ホーム メゾンすてっぴ



昨年は、非常階段の踊り場からの雨漏りがあり、入居者の方にはご迷惑をかけてしまいました。今年は、建物や設備のチェックを充分に行い、迅速に補修、修繕ができるよう心がけます。

管理者 関口晃一

ヘルパーステーションすてっぴ



あけまして、おめでとうございます。
もっと利用したいという方のために、
新しく利用したいという方のために、
スタッフを増やしたいと思います。

YU- BOKU MIN



開催のお知らせ

会期 平成27年1月29日(木)～2月24日(火)

会場 ミュージアムショップ mina(ミーナ)
前橋市千代田町5-1-16 アーツ前橋1F
TEL 027-289-8094
営業時間:11時～19時 休館日:水曜日



アーツ前橋のHP (www.artismaebashi.jp/) より

すてっぴのアート活動の発表の場である遊墨民展をミュージアムショップmina(ミーナ)で開催いたします。今回は、作品と共に、アーティストの紹介とすてっぴの活動を紹介する展示を企画中です。

また、障害のある人のアートが利用者さんにとって自己表現の場であるとともに、仕事(収入)につながるということを知っていただく機会にしたいと思います。

平成26年度 利用者合同忘年会

in 群馬ロイヤルホテル

12月13日(土)、今年も群馬ロイヤルホテルの「鳳凰の間」でわーくはうす・ぴいす・とらっばの合同忘年会を行いました。利用者さん84名、スタッフ33名、総勢117名が参加し、中華料理を堪能しました。また、ホテル側のご配慮により、特別食の方の料理にも対応していただきました。

昨年同様、合同の「交流席」を設け、久しぶりに会った仲間と話をしたり、写真を撮ったりしている様子が見られました。恒例のツリーの横での写真撮影も盛り上がっていました。

今年は3部署合同で行った北海道・沖縄・上高地の施設旅行のスライドショーを上映し、楽しかった思い出を振り返ることができました。

来年も楽しい1年になるように色々なことに挑戦していきましょう！



忘年会の開会宣言をしました！



初参加でしたが、楽しめました！



初めての司会、緊張したけど上手にできました。



今年も一年ありがとうございました。
カンパイ！



とらっばのみんなで
記念写真を撮りました。



ちゅうか～お腹いっぱい
食べました。



今年もお疲れさまでした。



注いでもらったビールはとても
おいしかったです。



おしゃれしてきました～！

すてっぷ職員研修報告

『シーティング技術研修』 9月15日(月) 講師: 繁成 剛氏(東洋大学 人間環境デザイン学科)
テーマ:自分に合ったランバーサポートクッションを作ろう!

車いすで生活している方の支援に携わるスタッフや、自身も腰痛を抱えるスタッフもいる中で、座位姿勢やシーティングについて学び、研修の後半では、ウレタンを使用して自分に合ったクッションを作成しました。骨盤幅の計測から始まり、ウレタンナイフで自分に合うように削り、何度も何度も微調整を繰り返し、完成にこぎつけました!

参加したスタッフの声...

「削るのが難しかった」

「実際に使ってみてとても楽に座れている!」

「作り方をマスターして利用者さんのクッションを作りたい!」



『国際福祉機器展視察研修』 10月1日(水)~10月2日(木) 東京ビッグサイトにて

テーマ:〇〇さんの〇〇を改善したい・より良くしたい

入社2,3年目のスタッフを対象に、毎年ビッグサイトで開催されているHCR国際福祉機器展に視察研修に行きました。道具が生活を変えろという事例がすてっぷにはいくつもあります。道具を使うことで、生活がしやすくなったりした例もあり、過去には、実際に福祉機器展で見てきた道具等も導入もされています。



参加したスタッフは事前に〇〇さんの〇〇を改善したい・より良くしたいという風な課題を持って研修に参加し、それぞれがブースを見て回ったり、実際に機器を体験したりしました。年明けには事例発表があるため今は各自が悪戦苦闘しながら課題に取り組んでいます!

『輝く人づくり』 11月15日(土) 講師: 中田 佳子氏(オフィスNAKATA代表)

研修に臨むにあたり、先生から事前に課題図書「どんな仕事も楽しくなる3つの物語」から「人であふれた駐車場」と「日本一のタクシー会社」を読んで感想を書いてくるという宿題が出されました。こうした形式での研修は初めての経験でとても新鮮でした。グループワークの時には事前に課題を共有して臨んだことでいつも以上に活発に意見交換ができたように感じました。また、他部署のスタッフと意見交換をすることで様々な意見や考えを聞いたことも各々にとってプラスになったのではないのでしょうか。

物事をマイナスに考えてしまうのは自分自身の捉え方によるもので、これからはピンチの時にはチャンスと言ってプラス受信(前向きに受け止めることでチャンスに!)で捉えるようにしたいと思います

中田先生の研修から学んだこと、各々が決意したことを忘れずに仕事に活かしていこうと思います。

研修報告

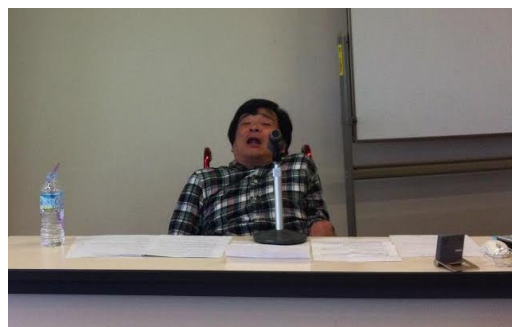
『障害のあるお子さんの性について～放課後を支える支援者として出来る事』

12月6日(土)、前橋市総合福祉会館にて、(社福)すてっぷの理事である谷口明広氏(自立生活研究所所長、愛知淑徳大学教授)を講師に迎え「障害のあるお子さんの性について ～放課後を支える支援者として出来る事～」の講演をいただきました。

昨年度、すてっぷが主催した「障がいのあるお子さんについて性の悩みありませんか?～大人になって『人生を楽しむため』の性教育とは～」の講演が障害をもった子ども達の放課後を支援する方々に大変好評だったため、今回は『群馬県放課後対策連絡会』が主催しての講演会となりました。



当日は「先生のお話をもっと聞きたい!」という群馬県内各地の障害児放課後支援事業所の指導員80名程が集まり、熱心に耳を傾けていました。私たち、放課後を支援するスタッフは常々、学齢期を過ごす子ども達の性について勉強をし、子ども達の豊かな人生につなげたいと考えていました。でも実際、子どもたちに何をしてあげたらよいのか?何が正しくて何がいけないのか?性については永遠のテーマでもありました。



今回、谷口先生は「性についての話は堅苦しく聞かないで、楽しく聞いて欲しい」というお話で始まり、神話や民話の話を交えながら、人間の性について自然の原理である事だと、とても分かりやすく聞く事ができました。「子ども達の発達に自然に起こる自然の要求を抑え込んではいけません。普通に接して普通に育てることが大切。」また、「社会に出た時に通用しないような行為が心配」という内容の質問から、「同じ行動をしてみれば子ども達の本当の気持ちが分かるでしょう。」とユニークなお話から会場が笑いに包まれ、子ども達に関わる時は本気で寄り添い関わる事が大切だという先生の愛情と熱意がお話の中から感じられました。先生からいただいたエネルギーで、子ども達が「大人になって行くまでに必要な発達」を大切に受け止め、心に寄り添った支援をして行きたいと改めて感じました。谷口先生、ありがとうございました。

キッズクラブ 服部厚子

『利用者ニーズの捉え方』

同日の午後、群馬県身体障害者施設運営協議会主催の身体障害者施設研修会が群馬県社会福祉総合センターにて行われ、『利用者ニーズの捉え方』というテーマでご講演いただきました。

障害者総合支援法が施行され、計画相談支援が注目される中、利用者さんの個別的な支援がますます重要になってきています。私たちは、利用者さんのニーズをきちんと聞き出すことができていますのか?言葉の背後にある本質をどれだけ引き出すことができていますのか?個別支援の本質的なことについて学びました。

また、今ある計画は誰が一番喜んでいいのか?計画を立てた支援者が一番喜んでいいのか?と言われ、本人中心の個別支援の『個』について考えさせられました。今回の研修で個別支援の本質にふれ、利用者さんとの向き合い方(立場に立ったと思わず、立場に立とうと努力し続けること)、自己実現ニーズの考え方、支援者として求められる姿勢など、おもしろおかしく、そして内容の濃い、愛ある講演でした。

わーくはうすすてっぷ 木村念伸



※谷口明広氏が手がけた本が出版されました。

中央法規より、『障害のある人の支援計画』

～望む暮らしを実現する個別支援計画の作成と運用～ ￥2,808(税込)

後援会費納入

ありがとうございます

神沢智恵子様 金子 登様
戸丸史郎様 大崎健樹様

ご寄付ありがとうございます

柴崎妙子様 谷口明広様 鈴木基司様
今野みや子様 鈴木孝様 鈴木隆子様
坂柳幸子様

ホーム建設基金

ご寄付ありがとうございます

土屋博正様 新井啓太郎様
中津山達也様 小野木敏晴様
福原悦朗様

ありがとうございました

地域歳末たすけあい募金配分事業の寄付金

わーくはうすすてっぷ(4万円)
ぴいす(3万円)
とらっぱ(3万円)
キッズクラブ(2万円)
ケアホームメゾンすてっぷ(2万円)
ケアホームRUN(2万円)
ケアホームすきっぷ(2万円)
わくわくハウス(2万円)
福祉ホームメゾンすてっぷ(2万円)

ありがとうございました

—チャリティハンドメイド展—

○お祝いをいただきました
女屋午治様 女屋幸雄様
○地域住民の皆さんへチラシを配布していただきました
・東上野町自治会様
○駐車場をお借りしました
農業組合法人東上野様 田子会計事務所様
前橋市農業組合理
○長机をお借りしました
群馬理器(株)様
○長机、パネルをお借りしました
永明公民館様
○後援をしていただきました
・上毛新聞社様 ・朝日新聞社前橋総局
・産経新聞前橋支局 ・毎日新聞前橋支局
・読売新聞前橋支局 ・(株)群馬経済新聞社
・朝日ぐんま ・群馬よみうり新聞社・群馬テレビ
・(株)エフエム群馬 ・J:COM群馬
○たくさんのお店や施設にポスターやチラシを置かせて
いただきました。たくさんあってひとつひとつ記載する
ことができなくて、申し訳ございません。
本当にありがとうございました。

ハガキ・切手の

ご寄付ありがとうございます

山本朱実様 内山智美様

ありがとうございました

群馬県蒔蒔協同組合様

- ・わーくはうす すてっぷ
- ・社会就労センターぴいす
- ・とらっぱ
- ・ヘルパーステーションすてっぷ
- ・ケアホームRUN
- ・ケアホームメゾンすてっぷ
- ・メゾンすてっぷ
- ・ケアホームすきっぷ
- ・わくわくハウス
- ・前橋市障害者生活支援センター
- ・ワークセンターまえばし
- ・サービスステーションすてっぷ
- ・kid's club

〒379-2164	前橋市東上野町 136 番地 1	TEL	027-290-6161
〒379-2164	前橋市東上野町 136 番地 2	TEL	027-290-6161
〒371-0017	前橋市日吉町 2-17-10	TEL	027-219-2525
〒379-2164	前橋市東上野町 136 番地 1	TEL	027-290-2233
〒371-0017	前橋市亀泉町 3-32	TEL	027-289-5605
〒371-0004	前橋市亀泉町 3-83	TEL	027-269-7444
〒371-0004	前橋市亀泉町 3-83	TEL	027-269-7444
〒371-0004	前橋市亀泉町 3-41	TEL	027-288-0704
〒371-0007	前橋市上泉町 338-1	TEL	027-289-8177
〒371-0017	前橋市日吉町 2-17-10	TEL	027-236-0001
〒371-0017	前橋市日吉町 2-17-10	TEL	027-231-7345
〒370-3523	高崎市福島町 782-1	TEL	027-372-3456
〒379-2164	前橋市東上野町 136 番地 1	TEL	027-289-6162